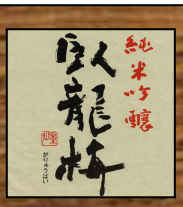
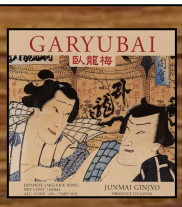
『臥龍梅』　蔵便り

平成二十九年長月





拝啓　日ごとに秋色深まりゆく今日この頃ですが、皆様お元気でお過ごしでしょうか。

今月もご報告することが盛りだくさんです。8 月 20 日(日)、恒例の**臥龍梅を愉しむ会**を開催いたしました。早いものでこの会も今年で８回目となります。会場はお馴染み、江東区清澄庭園の大正記念館。私や従業員にとっても１年に一度の楽しいお祭りですので、会社に朝６時半に集合して荷物を車に積込み勇んで出発しました。東京に着いてみると、数日間続いていた猛暑も幾分和らいだ様子で、まさに天の配剤です。毎年はるばる静岡から上京して参加して下さっている応援団員の望月さんの乾杯で開宴すると会場内はいっきにヒートアップ。まずはテーブル対抗ききあて大会です。各テーブルにラベルを貼った 5 本のお酒とラベルなしで中味のわからないお酒 1 本の計 6 本が並んでおります。ラベルなしの壜には 5 本のうちのどれかと同じお酒が入っており、利き酒して当ててもらうというゲームです。当然、テーブルごとに正解は異なります。ちなみにその 5 本というのは**臥龍梅　純米大吟醸　山田錦袋吊り、備前雄町袋吊り、短稈渡船袋吊り、純米吟醸　五百万石、純米吟醸　蒼富士**で、すべて生原酒ですのでなかなかの難問です。ところが集計してびっくり、24 テーブル中なんと 13 テーブルが正解しました。さすが臥龍梅応援団員の皆さんです。暫し歓談の後、大抽選会の開幕。賞品が純米酒仕込みの梅酒から始まって、臥龍梅のオリジナル T シャツ、臥龍梅のオリジナルポロシャツと次第にランクアップするに連れて会場内も盛り上がり、特等の**開壜十里香の袋吊り斗壜囲い**でピークに達しました。ところがそこで終わりにならないのがこの会のいいところ。会場内が盛り上がったまま大じゃんけん大会に突入です。勝ち抜いた方には私の着用している些か汗臭いハッピを進呈するのが習わしですが、それだけでは納まりがつかず、菅原杜氏や手伝いに来ていた長男のハッピまで進呈いたしました。そして最後に菅原杜氏が南部杜氏酒造り唄を熱唱して大喝采を浴びたところで目出度く閉会となりました。次は今月 2 日(土)に開催された**第 7 回美酒早慶戦**についてのご報告。読んで字のごとく、慶応大学と早稲田大学出身の蔵が自慢のお酒を持ち寄り、一般の卒業生も含めた参加者が利き酒してお酒の優劣を競う大会です。会場はコートヤードマリオット銀座東武ホテル。大学別に得点を競う団体戦と蔵別に競う個人戦の二部門があります。参加蔵は両校あわせて 72 蔵。お酒の会の規模としてもちょっとしたものです。その個人戦部門で何と**わが臥龍梅が一番に輝きました！**団体戦の方でも私の母校の慶応大学が勝利し、気持ちよく若き血を歌って帰ってまいりました。

さて、今月は先月ご案内した**山田錦 60%精米の純米吟醸秋あがり**に加え、**山田錦 45%精米の純米大吟醸**をお奨めします。春先に瓶詰めして一夏を越し、いよいよ飲み頃となりました。秋の夜長に味わうにぴったりの一品です。

気候の変わりめですので、おからだをお大切に。　　敬具

平成二十九年九月吉日　　鈴木　克昌